

オプション教材ウツギ 暗唱長文集



●暗唱の手順 1日分

・1日目は、まず、**1**の文章を30回音読します。最初の数回はゆっくり正確に「てにをは」などを間違えないように読みます。

正確に読めるようになったら、ある程度早口で棒読みで、句読点などであまり息継ぎをせずに読んでいきます。

イスにきちんと座って読むと読みにくい場合は、歩き回りながら読んでもかまいません。

お母さんやお父さんは、読み方の注意などは一切せずにただ優しく褒めるだけにしてください。

15回ぐらいでもう空で言えるようになることが多いと思いますが、できるだけ30回続けて読んでください。

なぜ回数を決めて繰り返すかという、「覚えられたらよい」という目標でやっているのと、暗唱の教材が難しくなったときに、「難しいからできなくなった」ということになりがちだからです。「決まった回数を繰り返す」という目標でやっているのと、難しい教材になっても同じように暗唱ができます。

30回音読しても暗唱できない場合は、もう10回音読してください。

これでその**1**の文章が暗唱できるようになります。

それでもできない場合は、暗唱の自習はいったん終了してかまいません。また機会を見てやっていきましょう。

●暗唱が難しいときは

暗唱のような短い時間の学習は、夕方にやろうとすると忘れてしまうことがあります。また、毎日同じようにやらないとできるようになりません。できるだけ、朝ご飯の前などに、家族のいる中でやるようにしましょう。

そして、暗唱を毎日やるのが難しい場合は、暗唱の自習はせずに、読書の方に力を入れていってください。

●暗唱の手順 1週間分

・1日目に、**1**の文章を暗唱できるようにします。

・2日目は、**2**の文章だけを同じように30回音読し、暗唱できるようにしておきます。

・3日目は、**3**の文章だけを同じように30回音読し、暗唱できるようにしておきます。

・4日めは、**1**、**2**、**3**の全部通して、10回音読します。すぐに暗唱できなくてもかまいません。

・5日めも同じように、**1**、**2**、**3**の全部通して、10回音読します。

・6日めも同じように、**1**、**2**、**3**の全部通して、10回音読します。

・7日めも同じように、**1**、**2**、**3**の全部通して、10回音読します。すると、**1**から**3**の全部の文章が暗唱できるようになります。

●暗唱の手順 1か月分

・1週目に、**1**から**3**の文章を暗唱できるようにします。

・2週目は、もう**1**から**3**はやらずに、今度は**4**から**6**の文章を暗唱します。

・3週目は、同じように、**7**から**9**の文章を暗唱します。

・4週目は、**1**から**9**の文章を全部通して、毎日4回ずつ音読します。

・すると、1か月で**1**から**9**の文章が暗唱できるようになります。

●暗唱の活用

・暗唱のコツをつかむと、自分の好きな本の1部を暗唱したり、英語の教科書を暗唱したりできるようになります。また、覚えるつもりがなくても、物事が頭に入りやすくなります。

●より詳しい説明は

より詳しい暗唱の仕方は、「暗唱の手引」 (<http://www.mori7.net/mori/mori/annsvou.html>) をごらんください。

暗唱長文にはどちらを使っても結構です。一番めの長文は幼長の十月十二月のものを再掲しています。

1十二月三日、大事件が起きました。ぼくの下の前歯が抜けたので、友達みんな抜けていたのに、ぼくだけ、まだ一本も抜けていませんでした。

その歯は、前から少しぐらうらうらしてました。**2**歯が抜ける前日から、走った震動でぐらぐらうらうらしてしまいうぐらう揺れていました。だから、ぼくだけ、朝ごはんをおかゆにしてももらいました。おかゆはあまり食べた気がしません。ぼくは何杯も食べました。

3朝ごはんはなんとか食べられたけれど、心配なのは給食です。その日の献立はきびなごフライでした。まるで歯医者さんに行つたときみたいに大きな口を開け、慎重に口に入れました。そんなに気を付けて食べたのに、ぐらぐらの歯がつんと当たつてしまいました。**4**とても痛かったです。ぼくは、おなかがぺこぺこでしたが、それから、もう歯が気になつてあまり食べられませんでした。

ぼくは、一回も給食を残したことがありません。それなのに、今日は残したので、友達が心配してくれました。**5**大ちゃんは、「自然に抜けるまで待つた方がいいよ。」
と言いました。てっちゃんは、

「ぼくは、お兄ちゃんとケンカしてたら腕がぶつかつて抜けたよ。」
と言いました。その話を聞いていた女の子たちも、自分が抜けたときのことを教えてくれました。**6**歯医者さんで抜いてもらった子もいました。ぼくがいちばんうらやましいなと思つたのは、朝起きたら抜けていたという話です。どうしてかという、寝ている間だったら痛くてもきつと気がつかないなと思うからです。

33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 09 08 07 06 05 04 03 02 01

7給食のあとの掃除の時間も、帰りの会のときも、ぼくはいつもの元気が出ませんでした。きつと給食を食べられなかったからだなあと思いました。帰りに大ちゃんが
「今日、遊べる?」

と声をかけてきたけど、断つてとぼとぼと家に帰りました。

8家に着くとお母さんが、
「うわー、これぬいてあげようか。」

と、ぼくの歯を指でぐらぐら揺らしました。ぼくは、思わず逃げたくなりました。

晩ご飯も、歯が痛くて食べられませんでした。**9**思い切つて抜いてしまおうとも思つたけれど、結局そのままにしてお布団に入りました。明日の朝、起きたら抜けていたらいいなあと考えながら寝ました。

次の朝、目が覚めると、なんと、枕のとなりに歯が落ちていました。

0「やったあ、抜けたよう!」

ぼくはお母さんのところへ走りました。思つたとおり、寝ているときに抜けたので嬉しくてたまりません。痛くなかつたので本当によかつたです。

(言葉の森長文作成委員会 〇)

66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34

言葉の森長文作成委員会 M

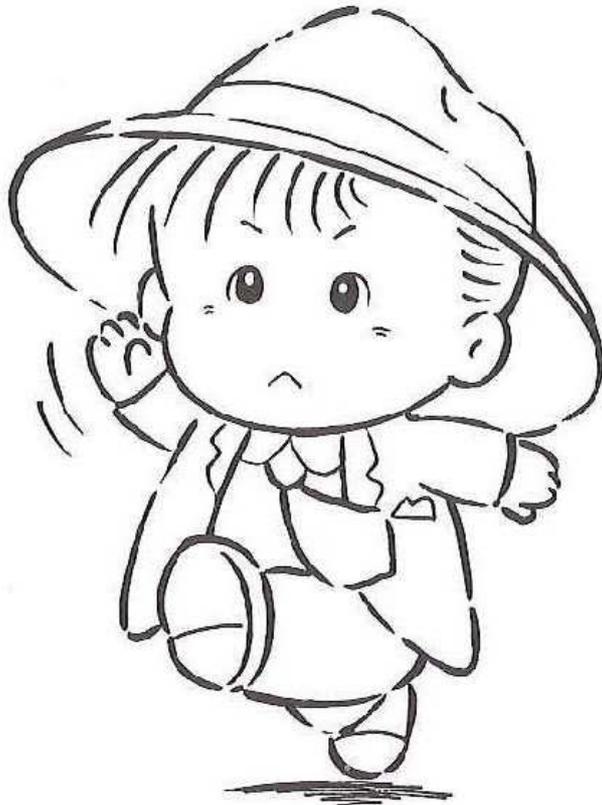
1 コンピュータは、あることを覚えさせれば一度で間違いなく記憶
 します。しかし、生き物はそうではありません。

2 記憶の実験で、ネズミを、ブザーが鳴ったときにレバーを押すと
 餌をもらえるような仕組みの箱に入れておきます。3 ネズミは、ブ
 ザーとレバーと餌の関係に気がつくまで、何十回も何百回も試行錯誤
 を繰り返します。そして、やがて、ブザーが鳴ったときにレバーを
 押せばよいのだということを知覚します。4 正しいやり方を覚えるま
 でに、間違ったやり方を何回も繰り返して失敗することが必要なの
 です。

生き物のこの記憶の仕方は、実は生きるために役立つています。5
 もし、ブザーとレバーの関係を記憶した人間が、ブザーのかわりにサ
 イレンが鳴り、レバーのかわりにボタンが置いてあるような場所に
 置かれたとすると、人間はブザーとレバーの関係から類推して、サイ
 レンとボタンの関係にやがてすぐに気がつくでしょう。6 しかし、
 機械は、いつまでたってもブザーとレバーの関係から新しい考えに
 移ることができません。

7 生き物は、高等になるほど曖昧な記憶の仕方ができるようになり
 ます。私たちは、ある人が別の服を着て現れても、それが同じ人だと
 いうことがわかります。8 もし記憶が、機械のように正確なもので
 あったなら、違う服を着ている人は違う人だと思ってしまうでしょ
 う。9 そのような記憶では、生き物は変化の激しい世界の中で生き
 続けることができなかつたはずです。数多くの失敗を通して覚えるこ
 ろに、生き物の記憶の秘密があるのです。0

99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67



暗唱長文にはどちらを使っても結構です。一番めの長文は幼長の十一月のものを再掲しています。

1 十一月最後の日曜日、万博公園でちびっこマラソン大会がありました。私は、二年生女子の部に参加しました。一年生と二年生は、一・五キロメートルを走ります。

万博公園に着いたら、すぐランニングを始めました。2 さくらちゃん、

「ああ、もうしんどい。いずみちゃん、まってえ。」

と、私を呼びました。私も、転がるように走って、大きな長い橋を渡りました。さくらちゃんの顔は、とても辛そうでした。その場で足踏みをして待っていると、ようやく、さくらちゃんが追いついてきました。3 やつとゴールに着いたときには、まるでお風呂上がりのように、体がぼかぼか温かくなっていました。

ランニングが終わると、コーチが、「おい、一年、二年こつちきて。」

といったので、小太郎さんと、私と、さくらちゃんは、コーチのところに駆け寄りました。

4 「ちよつとここを走ってみて。」

と言われたので、そのコースを三本走ったあと、ちびっこマラソンのコースを教してもらいました。思っていたより短いような気がしました。

一年生が、最初に走っていきました。5 次は、自分たちが走る番です。

「ようい。」

という声が聞こえたとき、急に胸がドキドキしてきました。喉もからからに渴いてきました。

「どんっ！」

という合図で、みんな一斉にバタバタと走り出しました。

33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 09 08 07 06 05 04 03 02 01

6 ところが、後ろのだれかが、いきなり私の背中をドーンと押してきました。その拍子で、私は、ばったりと転んでしまいました。

私の前にいた子も、転びました。転んでしまった私たちだけ取り残され、みんなどんどん走っていきます。

7 「くやしーい。」

と、心の中で叫びながら立ちあがり、前の子に、「ごめんね。だいじょうぶ?」

と声をかけました。相手は、頷きました。最初に押した人が、謝らないといけないのに、私が謝ってしまいました。

8 押した子は知らんぷりなので腹が立ちました。頭がカッカしたせいか、ものすごい勢いで走って、十人か十二人くらい抜かしました。いつもよりずっと速いスピードだったはずです。まるで風のようにだと思いつながら走りました。

9 あつという間にゴールに着きました。私のタイムは、七分三十秒、順位は、四十四位でした。悔しかったけれど、押された分を、少し取り返しました。もしも転ばなかつたら、今までの中で一番のタイムだったかもしれないと思いました。だから、四十四位でも満足でした。

0

(原작) ポメラニアン 編集 言葉の森長文作成委員会

66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34

1 都会で見られるカラスは、ハシブトガラスとハシボソガラスの二種類です。名前のとおり、くちばしが太く、「カアカア」と澄んだ声で鳴くのがハシブトガラス、くちばしが細く、「ガアガア」と濁った声で鳴くのがハシボソガラスです。

2 カラスは、高い木や鉄塔などの上に巣を作ります。都会では、針金のハンガーやビニール袋などを使って巣作りをすることもありません。

カラスは雑食性で、果物、昆虫、小動物など、いろいろなものを食べます。**3** 都会では、カラスがゴミをあさる姿がよく見られますが、カラスが生ゴミの中から好んで食べるのは、油分の多い唐揚げやポテトチップスなどです。

4 カラスは、食べ物を一度に全部食べてしまわずに、余った分を木の穴や石の下に隠す習性があります。**5** このため、何をどこに隠したかを記憶しておかねばならないので、カラスの頭がよくなったのだと言われています。

6 人間からはあまり好かれていないカラスですが、雛のうちから育てると、人にもよくなつきます。**7** 巣から落ちた雛にミルクやドッグフードをやっているうちにすっかり人になつき、口を開けて餌を待つようになったという話もあります。

8 ゴミをあさって散らかしたり、人間を襲ったりするのは困りますが、カラスも本当は人間に嫌われないわけではないのです。**9** 人間がカラスの気持ちを理解するところカラストアトすれば、カラスとうまく共存できるかもしれません。**0**

言葉の森長文作成委員会

▽



暗唱長文にはどちらを使っても結構です。一番めの長文は幼長の十二月のものを再掲しています。

1 夏休みに、野毛山動物園に行きました。桜木町の駅前から、バスに乗りました。ずっと前から動物園に行ってみたかったので、嬉しくてたまりません。どんな動物がいるのかなあ？ ゴリラはいるかなあ？ 本物のゴリラやサルを見てみたいなあ。**2** ぼくは、わくわくしながらバスに乗りました。

動物園に着くと、入り口でパンフレットをもらいました。パンフレットを見てみると、ゴリラはいませんでした。ぼくは、ちよつとがっかりしました。でも、チンパンジーやマントヒヒがいます。

3 ぼくは、サルの仲間が大好きです。動きが人間のようでおもしろいからです。早くチンパンジーのところに行きたかったけれど、最初から順番に見ていくことにしました。どうしてかというところの動物を見たかったからです。

4 レッサーパンダは、クーラーのついた部屋で寝ていました。ぼくの家にはクーラーがないので、ぜいたくだなと思いました。ライオンも、トラも、寝ていました。みんな暑くて元気がないのかなと思いました。

5 ぼくがいちばんおもしろいと思ったのは、ヨザルです。ヨザルは、赤いライトのついた暗い部屋にいました。同じところを何回も何回もぐるぐる回っています。時々木の枝に立ちどまって休憩し、ぼくたちの方をじろじろと見ます。**6** それからまた、同じところを何度も回ります。ぼくはそれに気がついて、お母さんに教えました。お母さんも、ヨザルを見て、

「ほんとは、ずっと同じことをしてるね！」と笑いころげていました。ぼくは、ヨザルが大好きになりました。**7** お母さんも、ヨザルが気に入ったみたいです。

33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 09 08 07 06 05 04 03 02 01

そのあと、なかよし広場に行きました。モルモットやハツカネズミを手の上に乗せて遊べます。ぼくは、茶色のハツカネズミが気に入りました。何匹も手に乗せました。かわいいなあと思いました。**8** 頭の上にさせている人もいて、びっくりしました。

お母さんが

「あそこ見て、ラットがいるよ。」

と上を向いたので、ぼくも見てみると、ラットが綱渡りをしていました。何匹も連なってちよちよこ走っているの、まるでラットの運動会みたいでした。

9 ぼくがどうしても本物を見てみたい動物は、ピグミーマーモセットです。算数の教科書に写真が載っていました。バナナよりも小さいサルで、とてもかわいいです。お母さんが調べてみたら、静岡県にある動物園にすることがわかりました。ぼくは、早くその動物園に行ってみたくです。**0**

(言葉の森長文作成委員会 ㊄)

66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34

1記憶には、さまざまな種類があります。トランプの「神経衰弱」の記憶にあたるものは「短期記憶」です。これは必要のある短い間だけ覚えていくものです。**2**そのときにだけ必要な記憶をいつまでも覚えておくと、頭の中が余分な記憶でいっぱいになってしまいます。役目が終わったらすぐに忘れていけるのが、この記憶の特徴です。

3「手続き記憶」と呼ばれるものは、からだで覚えるといった種類の記憶です。練習して乗れるようになった自転車には、何年たっても心配なく乗れます。**4**水泳やスキーなどもからだで覚えているので、言葉で説明できなくても自然とからだは動いていくものです。

言葉の意味や数字の関係など、ふだん机で勉強するものは「意味記憶」です。**5**また自分だけの時間や場所によって作られる、つまり思い出にあたるものは、「エピソード記憶」です。

更に「プライミング記憶」というものもあります。これは自分でも知らない間に覚えている記憶のことです。**6**たとえば、「シカを十回言って」と言い、相手が「シカ、シカ、シカ、シカ、……」言い終わったあとに、「サンタクロースが乗っていたものは」と聞くと、つい「トナカイ」と答えてしまうようなものです。**7**答えはソリなのですが、シカという言葉が気がつかないうちに記憶に残っているので、シカに似たトナカイと答えてしまうのです。

8人間は単純な生物から進化してきましたが、記憶の中で進化の最も早いころからあったものは手続き記憶です。そのあと、意味記憶や短期記憶が生まれ、最後に作られた記憶がエピソード記憶です。**9**ただ、エピソード記憶の仕組みができてきたのは、三、四歳ころです。ですから、一歳のお誕生日に初めて歩いて、みんなに手をたたかれたというようなエピソードは、記憶としては残っていないのです。

0 言葉の森長文作成委員会

99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67

